

# ひかり

2021 年 12 月号



日本聖公会 三光教会

第 699 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912 年(大正元年)11 月 2 日

Christmas

言(ことば)は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

(ヨハネによる福音書 1:14)

## 光の子として

司祭 アモス金 キム 大原 デウオン

また年が暮れ、2021年も終わりを迎えようとしています。このような時期に主イエス・キリストの降誕日を迎えるのはいろいろな面で意味が深いと思います。今までの一年間を振り返り、新しい一年の決意を新たにする時間を、浮ついた気持ちで過ごすのではなく、静かに自分をかえりみて過ごせる機会を与えてくれるからです。特に、コロナ禍によって不安は慢性化し、孤独が深まりつつありますが、耐えがたいからといって避けるのではなく、今までのすべてのことを根本から見直し、人類が一步でも前に進むことができるように祈ります。

ここで、3年前の年末にあった、感動的な出来事を紹介させていただきます。オランダのデン・ハーグにあるベデル教会では、2018年10月26日から96日間、昼も夜もずっと礼拝が行なわれていたことがあります。これは、オランダの裁判所から追放令が出さ

れた、あるアルメニア人の家族を守るためのことでした。この家族は、アルメニアでの父親の政治活動のために殺害の脅威にさらされ、命をかけてオランダに亡命をして9年も経っていました。何の問題もなく過ごしていたのに、難民の増加によってオランダの法律が厳しく変わり、この家族も追放されることになったのです。国に帰るとすぐ投獄され、殺されるかもしれないから、彼らはキリスト教会に頼ろうと思い、ベデル教会に入って助けを求めたわけです。ベデル教会の関係者は、「裁判所の決定を尊重するが、政府を尊重することと、家族を守るものの中で何を選ぶべきか。助けを求める人から顔をそむけることはできないから、彼らの拠り所となつてあげることにした」と言っていました。

オランダの法律には、宗教儀式中の公権力の執行が禁じられています。すなわち、礼拝中に警官が礼拝堂に入ることはできないから、礼拝が続く限り、この家族は捕まることも、追放されることもなかったのです。これが知られると、たくさんのクリスチャンがこの礼拝に出席し始めます。宗派が

違っても、礼拝の形が違っても、進歩的な人も、保守的な人も、皆が一つになって、この家族を守るために、この教会に来て礼拝を捧げ、またこれを応援して他の教会でも礼拝が行なわれました。ついに、96日経って、2019年1月30日、オランダ政府は、この家族を含め、自国で成長した子供がいる家族、全部で700家族の追放を中止して再審査すると発表しました。

3年前の降誕日の直前にこれを知り、深い感銘を受け、泊まるどころがなくて馬小屋に生まれたイエスの家族の物語とかみ合せて、キリスト教会の有り様について考えさせられました。

使徒パウロは「あなたがたは以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。光の子として歩みなさい」(エフェ5:8)と勧めました。光の子として歩むことはどういう意味でしょうか。まさに、ベデル教会の信徒たちのように、隣人のためのキリストの愛を生活の中に現すことではないでしょうか。わたしたち一人ひとりが光を放つ星であることを忘れず、東方の博士たちをイ

エスのところまで導いた星のように、わたしたちも人々を主に導く星になるべきです。

この美しい季節、わたしたちの心の中に星一つが生まれるように。その星の光に導かれて歩み、ついにわたしたちの主イエス・キリストにお会いできますように。

## 12月・2月の予定

### ◆ 12月

19 日(月) 降臨節第4主日  
21 日(火) 使徒聖トマス日  
21 日(火) 降臨節前主日  
24 日(金) 降誕日前夕  
25 日(土) 降誕日  
26 日(日) 降誕後第1主日  
27 日(月) 最初の殉教者聖ステパノ日  
28 日(火) 福音記者使徒聖ヨハネ日  
29 日(水) 聖なる幼子の日  
主祭トマス・ベケット

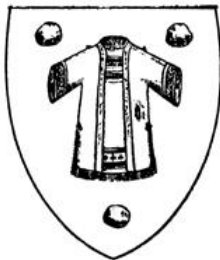
### ◆ 2022年1月

1 日(土) 主イエス命名の日  
2 日(日) 降誕後第2主日  
6 日(木) 顕現日  
9 日(日) 顕現後第1主日・主イエス洗礼の日  
10 日(月) 1月逝去者記念礼拝  
13 日(木) 主祭ヒラリー  
16 日(日) 顕現後第2主日  
17 日(月) 修院長アントニオ  
20 日(木) 殉教者主祭フアビアン  
21 日(金) 殉教者おとめアグネス  
22 日(土) 殉教者執事ビンセント  
23 日(日) 顕現後第3主日  
25 日(火) 使徒聖パウロ回心日  
26 日(水) 聖パウロの協力者聖テモテ・聖アトス  
27 日(木) 主祭教会博士ヨハネ・クリストム

28 日(火) 司祭教会博士トマス・アクィナス  
30 日(日) 顕現後第4主日

### ◆ 2月

2 日(水) 被献日  
3 日(木) ヨーロッパの殉教者  
5 日(土) 日本の殉教者  
6 日(日) 顕現後第5主日  
7 日(月) 2月逝去者記念礼拝  
11 日(金) 日本聖公会組織成立記念日  
13 日(日) 顕現後第6主日  
20 日(日) 顕現後第7主日  
23 日(水) 殉教者主祭ポリカール  
23 日(木) 使徒聖マッテヤ日  
27 日(日) 大斎節前主日



## 2022年度

### 教会委員選挙

### 開票報告

(得票順)

- ・大川由美子
- ・藤田新一郎
- ・頼甲子
- ・大越保正
- ・池田哲朗
- ・安次嶺佳子
- ・伊藤和彦
- ・牟田実
- ・大越伸二
- ・斎藤和子
- ・保坂誠

※得票数同点の方がいた為11名選挙で選出されました。  
なお、これに加えて12月26日(日)の教会委員会にて推薦者4名を決定する予定です。

## 中山神学生の実習最終日

5月から(前期)5月10日〜7月18日・後期)9月12日〜12月12日(三光教会で主日実習を行なっていた中山神学生が12月12日(日)に実習最終日となりました。

☆ ☆ ☆

コロナ禍でいつもと違った教会実習の中、主日を含め土曜日の活動やワークなどにも参加して下さり信徒との交流も深められました。

礼拝内で奨励も数回行ない、ご自身の信仰生活や思いなどを語られていらっしゃいました。

また新たな場所へ派遣され様々な体験をとおして、人の痛みがわかる聖職者となられるように教会員一同でお祈り致します。



写真右・中山神学生の奨励  
写真左・最後のご挨拶



### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。(休止中)

はじめて教会にいらした方へ  
礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。  
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。  
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

### 礼拝のご案内

■主日礼拝  
午前 7:00 早祷・嘆願  
午前 7:30 聖餐式  
午前 9:00 ステパノ会  
(日曜学校)礼拝  
午前 10:30 聖餐式  
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝  
月曜日から土曜日までは、  
毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式